

令和6年度 第1回 砂川市総合戦略推進委員会議事録

日 時 令和6年7月30日(火)

15時00分～

場 所 市役所2階大会議室

○委員

団体名	役職		備考
砂川商工会議所	会 頭	其 田 勝 則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡 本 昌 昭	
砂川観光協会	会 長	石 家 裕 二	
砂川建設協会	会 長	三 土 壽 廣	
砂川青年会議所	理事長	瓜 秀 彬	
新砂川農業協同組合	専務理事	渡 部 延 三	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	滝 田 慎	
砂川市校長会	会 長 (空知太小学校校長)	佐 藤 浩 之	欠席
砂川地区連合会	会 長	金 子 直 樹	

○市役所

総務部長	板 垣 喬 博
総務部審議監	安 原 雄 二
市民部長	堀 田 一 茂
保健福祉部長	安 田 貢
経済部長	野 田 勉
建設部長	斉 藤 隆 史
教育次長	東 正 人
市立病院事務局長	朝 日 紀 博

○事務局

総務部政策調整課長	三 橋 真 樹
総務部政策調整課企画調整係長	藤 田 美 穂
総務部政策調整課企画調整係	長 谷 川 亮
総務部政策調整課企画調整係	中 陳 一 輝
総務部政策調整課企画調整係	三 浦 一 之

1. 開 会

【政策調整課長】

本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

ただいまから、令和6年度第1回砂川市総合戦略推進委員会を開催させていただきます。

2. 委嘱書交付

【政策調整課長】

本年度は委員の任期2年が新たに始まる年であります。

皆様方には、本年3月に、委員の委嘱についてご承諾いただいているところでございますが、本日は今年度最初の会議でありますので、4月1日にさかのぼる形となりますが、飯澤市長から皆様に委嘱書を交付させていただきます。

市長が皆様の下に伺い、委嘱書をお渡しいたしますので、その場でご起立のうえ、お受け取り願います。市長、お願いいたします。

—委嘱書交付—

【政策調整課長】

それでは、本会議の開催にあたり、飯澤市長より挨拶を申し上げます。

3. 市長挨拶

【市長】

皆さんお疲れ様です。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

本日の会議は、本年度最初の会議で、昨年7月以来の開催と伺ってございます。令和3年度を初年度とした、第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略も、5か年のうち、はや、3か年が過ぎまして、4年度目を迎えることになりました。

総合戦略に掲げ取り組んでまいりました各事業につきましては、昨年1年間の実績がどうであったか、また、令和6年度の事業内容を踏まえた計画変更について、ご検証、ご協議をいただく会議となっておりますので、お集まりいただいた皆さんの中から色々な意見を伺いたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

これまで、総合戦略の基本的な柱に沿って、様々な事業に取り組んでまいりました。特に、子育て支援策の充実としまして、子ども医療費の助成の充実、乳児おむつ無料クーポン券の交付、多子世帯の保育料負担軽減事業、学童保育料の見直し、砂川高校の支援といたしまして模擬試験の受験料補助金や大学入学奨学補助金の

拡大、学校給食費の無償化など、子育て世代の負担軽減を図り、子育てのしやすい環境を整えてまいりました。

また、地域経済の活性化や、住環境の整備による定住促進を図るため、創業支援や農業担い手支援などによる商工業や農業の振興、地域ブランド定着推進事業、移住定住促進住宅の整備、ハートフル住まいる関連補助金の拡充、住み替え支援関連補助金の新設などに取り組むほか、デジタル化の推進としましては、住民票等のコンビニ交付サービスの開始、保育所及び小中学校へのICTシステムの導入などに取り組み、総合戦略で掲げた数値目標の達成を図りながら、施策を実行してきたところでございます。

今年度におきましても、昨年度対象を小学生まで拡大した医療費の無料化を、対象をさらに広げ、高校生まで無料としたほか、保育所の給食費の無償化及び幼稚園の副食費の助成、乳児おむつ無料クーポン券を乳児すこやか応援クーポン券として、対象品目等の拡大など、子育て支援についてさらに充実・強化をさせていただいております。また、従業員の家賃支援にも取り組ませていただいたところでございます。

人口減少も加速いたしまして、消滅可能性自治体の公表もされ、砂川市も入っているところでございますけれども、本計画の基本目標であります「安定した雇用を創出し、地域人材の活躍の場を作る」、「新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「安心して暮らし続けることができる地域をつくる」、この4つの基本目標を達成するためにも、本日の推進委員会が、活発な意見交換の場となるようご期待申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

【政策調整課長】

ありがとうございました。市長におかれましては、次の公務がございますので、ここで退席いたします。

－市長退席－

【政策調整課長】

それでは、次に次第の4番目「委員長及び副委員長の選任について」に入ります。

4. 委員長及び副委員長の選任について

【政策調整課長】

委員の皆様、お手元の資料1をご覧ください。

本委員会の委員長及び副委員長につきましては、砂川市総合戦略推進委員会設置要綱第5条第2項により、委員の互選により定めると規定をされております。委員

長及び副委員長の選出について、委員の皆様からご意見、ご提案等はございますでしょうか。

－なしの声－

【政策調整課長】

特に無いようでしたら、事務局から提案をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

－了承の声－

【政策調整課長】

ありがとうございます。

事務局案でございますけれども、引き続き、委員長には、商工会議所会頭であります其田委員、副委員長には、砂川市町内会連合会副会長であります岡本委員にお願いできればと考えております。

皆様いかがでしょうか。

－了承の声－

【政策調整課長】

ご承認いただき、ありがとうございます。

其田委員長、岡本副委員長におかれましては、引き続きご就任いただくこととなりますが、よろしくお願いたします。

それでは、其田委員長には、委員長席へご移動いただき、就任にあたってのご挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願いたします。

【委員長】

皆様、ご苦勞様です。今ほど、ご承認をいただき、委員長の職に就きました、其田です。前回から引き続きとなりますが、よろしくお願いたします。

さて、「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成27年度に第1期の計画を策定して以来、毎年計画の見直しを行いながら、事業の推進を図ってきましたが、令和3年度からは、第2期総合戦略がスタートしたところでございます。

第2期に入りまして、国の政策であります、「デジタル田園都市国家構想」いわゆるDX、デジタルトランスフォーメーションの動きが、まさに日進月歩で、早い動きがございまして、それに対しても、それぞれの自治体が対応するということで、毎年毎年アップデートを重ねながら、「砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について見直しを図ってきたところでございます。

先ほど市長が言いましたように第2期の3年が終わりまして、4年目にというと

ころでございますので、そういったような時代背景も考えながら、それぞれの立場でご意見をいただければと思います。

それではここから先は、着座にて進行させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【政策調整課長】

ありがとうございました。これよりの議事につきましては、其田委員長のお手元で進行をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

5. 報告事項

(1) 企業版ふるさと納税の実績報告について

【委員長】

それでは、次第に従って進めてまいります。まず、5番目の報告事項、「企業版ふるさと納税の実績報告について」、事務局の方からご説明願います。

－事務局より説明－

【委員長】

それでは、只今の説明について、皆様の方からご質問・ご意見はございますか。

－質疑等なし－

【委員長】

無いうでございまして、報告事項については以上とさせていただきます。

6. 協議事項

(1) 第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

【委員長】

それでは、協議事項に早速入っていきたいと思います。まずは(1)、「第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について」ということで、令和5年度分の検証になります。事務局から説明をお願いいたします。

－事務局より説明－

【委員長】

ありがとうございます。令和5年度の総合戦略の実績ということで、資料的には

ボリュームがかなりありましたけれども、今の報告について何かご質問ご意見等ございますでしょうか。大丈夫でしょうか。青年会議所では今年度、婚活イベントを実施したとのことですが、そのことについてコメントをいただいてもよろしいでしょうか。

【委員】

ありがとうございます。

砂川青年会議所としましては、今回、6月に婚活事業を実施させていただきましたありがとうございます。こちらでは、10組、合計20名が参加し、うち3組がマッチングいたしました。その内の1組につきましては3、4回デートをしているとのことと順調に進んでいるということで、成果があったと考えております。

【委員長】

ありがとうございます。

事務局から今年度は2団体が婚活事業を実施するとのことでしたが、砂川青年会議所がもう一度婚活事業を実施するのですか。

【委員】

砂川青年会議所以外の団体、農協の青年部さんだと思われます。

【委員長】

わかりました。

他に何かございませんか。

【委員】

婚活となると、ハードルが少し高いようなイメージがあります。本州のどこのまちか忘れてしまったのですが、20代くらいまでの同窓会に対して、補助を行っているまちがあります。そういった事業を行うことも1つの手なのではないかと思えます。

【委員長】

ありがとうございます。

参加しやすいということも大事ですよ。

【委員】

今回、青年会議所では婚活パーティーとしてイベントを実施しましたが、婚活というワードに対して、ハードルの高さを感じるというお声もありました。

詳細な決まりがどうだったか確認しなければいけないですが、婚活というワード

を入れなければいけないというのであったら、それをもう少し、軽いような出合いを支援するようなものにしてもいいのかなと思います。

【委員長】

そうですね。ワード1つとっても「婚活」というと抵抗が多いので、その辺は課題かなと思います。

他にございませんか。

私の方から、砂川駅をバリアフリー化ということで、ここにも書いてあるんですけども、中々JRの方が乗っかってくれないということかと思うんですが、見込みというかどうかなのでしょう。その辺のところをどなたかお話いただければと思います。

【建設部長】

JRのバリアフリー化でございますけれども、長年にわたりましてJR北海道と協議を進めてきているところで、当初案ではエレベーターの新規の設置、第二案として第三線を廃止し東口のホームまで接続。特にこの部分ですね、JR側の経営環境が著しく悪化しておりまして、今でいきますと新幹線の延伸工事がかなり大きな負担になっている中で、ラピダスの関係ですとか色々協議を重ねていく中で、技術系の職員が次々と退職しておりまして、著しく人手不足で全く手が回っていないというような状況になっておりまして、バリアフリー化そのものについては理解している、設置することに異論はないと。ただしJRの構内の設備について、通常の公共事業とは全く違うJR側で全て設計施工等しなければならない。仮に砂川市において全額負担するとしても、非常に特殊な工事ということもありまして、砂川市の一存で決定できるようなところではない。

現在も交渉を続けているんですけども、現在までの回答としましては、新幹線の延伸工事が終わるまでは手を付けられないということなんですけれども、延伸工事がさらに延期されようとしている中で、今JRの方では日程を見直しているという中で、一方では新しい駅を作ろうとしているというのもありまして、色々調べますと、やはり採算のあがる事業を優先しているというところで、全体的な状況としては厳しい状況なんですけれども、市の基本的な一貫した姿勢としましては完全バリアフリー化を目指して引き続き協議をしている最中でございますけれども、例えばその完成に至るまで、簡易的なリフト的なものを付けることができないかといったことも含めまして、目下色々協議は継続して行っておりますけれども、現在の状況としては依然として厳しいというところでございます。

【委員長】

ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

他に皆さんからございませんか。なければ、第2期砂川市まち・ひと・しごと創

生総合戦略の令和5年度の実績としては、この内容でよろしいでしょうか。

－了承の声－

(2) 第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画変更について

【委員長】

続きまして、協議事項(2)「第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画変更について」、事務局からご説明をお願いいたします。

－事務局より説明－

【委員長】

ただいま計画変更についての説明がありました。このことについて、何か質問やご確認したいことはありますか。

－質疑等なし－

【委員長】

それでは、第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画変更については、この内容でよろしいでしょうか。

－了承の声－

【委員長】

ありがとうございます。以上で協議事項については終わりとなります。

7. その他

【委員長】

次に、次第の7番目「その他」ということで、まず事務局の方から何かありますか。

【事務局】

今回、皆さんにご協議いただいた総合戦略につきましては、決定版として皆様に後日配布いたしますので、よろしくをお願いいたします。以上です。

【委員長】

最後に委員の皆さま方から、何かございますか。

【委員】

村山内科医院が閉院し、今後かかりつけ医が減ってくる可能性があるのではないかと。市で誘致するわけにはいかないと思うんですけど、かかりつけ医が減少するというのはちょっとどうなのかなと。

【委員長】

今後の地域医療というか、まちづくりについてどうなるのでしょうかという心配のご意見なんですけれども、どなたかご発言できますか。

【保健福祉部長】

市内クリニックの閉院ということで、今年度内科医院1箇所が閉院してございます。また、市内の開業医の方が残念ながら高齢化ということもあって勇退されるケースが出てきている中で、当市においては開業医の方を誘致する施策を講じていくかどうかということについて、現在庁内で内部検討をしておりますけれども、まず現段階においては、全道的に自治体として開業医の方を誘致する施策を実際に条例等で講じている自治体もございます。道内においてどのような自治体がどういった施策を講じているのか、その状況をまず把握すると。その中で、当市においてそれと言わば似たようなと言いますか、そういった方向性の施策を講じていく必要があるかどうかということ、まず道内の先進例を学んで、さらに庁内の中で検討を進めていきたいといった状況でございます。

【委員長】

はい、ありがとうございます。検討中ということで、問題意識はあるということだと思います。そういったかかりつけ医がいなくなると、全部が全部市立病院とはいかないの、医師や経営体制なども将来的には考えていかなければいけないのかなと思います。

他にございますか。

特にないようでございますので、閉会をしてよろしいでしょうか。

それでは第1回砂川市総合戦略推進委員会を閉会いたします。大変ご苦労様でした。

終 了